

研究課題名：アレルギー性気管支肺真菌症 第2回全国実態調査

所属(診療科)：呼吸器内科

研究責任者(職名)：上原 隆志 (医師)

研究期間：2020年4月18日～2021年12月31日

研究目的と意義：アレルギー性気管支肺真菌症は、一部の喘息患者さんにみられる、真菌に対するアレルギー疾患です。再発を繰り返すことや、進行して呼吸不全になる重症例もあり、より適正な診断が求められます。2013年度に行われた前回の実態調査によって、本邦における臨床像が海外からの報告と異なることがわかり、新しい診断基準が提唱されました。新しい基準に基づき診断されたアレルギー性気管支肺真菌症の臨床像を検討することで、診断基準の妥当性を確認し、難治症例の特徴を明らかにし、そして治療指針を作成することを目的としております。

研究内容：

●対象となる患者さん：2014年1月1日から2019年12月31日までに当院でアレルギー性気管支肺真菌症（診断基準5項目以上を満たす）もしくはアスペルギルス感作喘息として診療を受けた方

●利用する情報/資料：年齢、性別、喫煙歴、臨床検査値（IgE、好酸球数）、呼吸機能検査、X線やCTなどの画像所見、治療の内容とその効果など。これらを匿名化した電子化データとして集積します。これらの情報は研究終了後5年または研究結果発表後3年のいずれか遅い時期に廃棄します。

●研究方法：後向きに解析する観察研究です。多施設共同研究で、データ解析は東海大学医学部附属病院で行われます。

問い合わせ先：

【研究担当者】

氏名：上原 隆志

住所：〒238-8567 神奈川県横須賀市上町 2-36

電話：046-823-2630 FAX：046-827-1305

受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）